

## 令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	71	学校名	浜松西高等学校
------	----	-----	---------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	知的好奇心・探究心を大切に、幅広い知識・思考力・表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。	○「授業の内容がよく分かる」80%以上 ○「授業は学力を伸ばすことに十分役立っている」80%以上 ○「家庭学習時間が120分以上」80%以上、「60分未満」0% ○「授業→復習の学習サイクルが確立できている」数英各70%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9割以上の生徒が授業は学力を伸ばすことに十分役立っていると感じている事実は素晴らしい。授業の目標が明確であり、主体的な学びが展開されているからこそであると思う。</li> <li>・家庭での学習時間にこだわらず学習の時間を評価すればよい。</li> <li>・部活動・学習塾等生徒も時間的な余裕が無く、家庭学習時間が不足するのは致し方ない。授業に集中できる環境作りが大事。</li> <li>・読書の時間が生き方の道標となることもわかってくると幅広い視野が根付くことに気付かせたい。</li> <li>・図書館の利用率も高いほうが良いが、知識・思考力・表現力向上につながる利用の仕方が重要である。</li> </ul>
		○「本校の図書館をよく利用している」50%以上 ○「よく読書をしている」50%以上	B		
イ	地域社会・国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を育成する。	○「興味や関心を喚起される授業が行われている」80%以上 ○「自分の意見を相手にはっきり伝えることができる」80%以上 ○「相手の意見をしっかりと受け止めることができる」80%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な学びへの指導が生きてきている。</li> <li>・自身の学びを広げ深めることができている点は継続して達成、向上できるよう取り組んでいただきたい。</li> <li>・授業において、多くの教科でグループ学習が成立し、対話的で深い学びに繋がっている。</li> <li>・学校生活に満足している生徒が大多数であることは、学校という場が生徒の自己実現の場となっていると感じる。大変素晴らしい。</li> <li>・学校生活への満足度が高いことは、学校運営が上手に行われている証である。</li> </ul>
		○「自分から進んで行動できる」80%以上 ○「学校生活に満足している」80%以上	A		

様式第5号

ウ	生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。	○「自他の生命の大切さについて、主体的に考えている」80%以上 ○「学校において悩み等を相談する方法や場所を知っている」90%以上	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談しやすい雰囲気を醸成しており、相談活動の推進が図られている。</li> <li>・悩みの相談に関する少数の否定的意見も汲み取る姿勢も継続していただきたい。</li> <li>・ヘルメット着用は「努力目標」ではあるが、着用率向上のための取組について検討が必要。</li> <li>・交通ルールとマナーについての指導は継続の必要性を感じる。</li> <li>・交通マナー、防災に対する意識付け、社会ルールの習得等、学校以外の事柄もこの時期（中高生の期間）に身に付けるべき。</li> </ul>
		○防災マニュアルポケット版の携帯率100% ○防災に関する職員研修を実施。	A		
		○交通マナーに関する苦情0件、交通事故0件	B		
エ	自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲をもつ生徒を育てる。	○「学校行事以外でボランティア活動をした」70%以上	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成できていないボランティアの項目については、ボランティア担当を設置するなど改善の試みが見られている。</li> <li>・ボランティアに参加する機会が乏しく、学習成績や大学受験に直接結びつかない事から難しいと感じる。</li> <li>・フィールドスタディ・プログラムが有効である。広く社会の情勢に視野を広げる刺激も必要と感じる。</li> <li>・探究学習は、社会の発展に積極的にかかわろうとするリーダー性の育成につながっている。西高生の未来に大いに期待する。</li> </ul>
		○「フィールドスタディ・プログラムに満足している」80%以上 ○「大学での学びに興味関心が高まった」80%以上 ○「探究学習は、課題発見解決能力を高めたり、自己の進路選択に役立ったりしている」80%以上 ○「相手の立場や意見を尊重している」90%以上	A		
		○「校則等の決まりを守って生活している」90%以上 ○「規則正しい生活をしている」90%以上 ○「近所や知り合いの人にあいさつをしている」90%以上	B		
オ	目標の実現に粘り強く取り組むたくましい心と体を育成するとともに、生徒の主体的な取組を通して自主・自律の精神を育み、生徒が主役の明るく規律ある学校	○「学校行事に積極的に取り組んでいる」80%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活が楽しいと考えるのは先生方の日頃の指導体制と共通理解のお陰である。</li> <li>・全体的に目標が達成されていて素晴らしい。少数の否定的意見を汲み取る姿勢を継続してほしい。</li> <li>・体育大会の様子を拝見し、まさに生徒が主役の学校行事であると感じた。一方、人間関係をうまく築くことができない生徒は、組織で見守っていく必要性を感じる。</li> <li>・一般的に学校生活への満足度が</li> </ul>
		○「学校が楽しい」90%以上 ○「学校において人間関係は良好である」90%以上	A		
		○「校内美化（清掃等）に前向きに取り組んでいる」90%以上	A		

様式第5号

	づくりを進める。				高く、申し分ない。 ・校内美化の意識もより向上させてほしい。
カ	系統的・組織的な進路指導を通して、一人一人の夢と志を可能とする進路を実現する。	○高2末までにオープンキャンパス参加者 80%以上 ○「大学教授などの外部の方から話を聞くことで進路意識が高まっている」80%以上 ○「西山台チャレンジサポート」申請者の増加 ○「学校から進路に関する情報や指導を十分受けている」80%以上	B	A	・R6年度大学入学共通テスト結果は大変素晴らしく、系統的・組織的な指導の成果だと思われる。 ・素晴らしい成果をあげている。日頃の指導のお陰であり、保護者にも知ってもらいたい。 ・学力は素晴らしいと思うので、進路に対する夢と志の意識付け向上に引き続き力を入れてほしい。 ・一人一人の夢や志を可能とする丁寧な進路指導が今後も期待される。 ・生徒個々に向き合った適切な指導と成果が出ている。一人でも取り残さないように期待する。
		○生徒自らが立てる進路目標実現率 90%以上 ○難関国公立大合格者 35人 ○国公立大合格者 120人	B		
キ	生徒を鍛え、生徒の自己実現を支援することができる、高い指導力をもつプロの教師集団を目指す。また、組織を支える教職員一人一人のワークライフ・バランスの保持・向上に努める。	○評価の方法・課題等について情報共有を行う。 ○中等部・高校間の授業見学率 100% ○授業リサーチの実施 ○ICT活用について他校等における事例の情報共有を行うとともに、研修会を通じて、アクティブラーニングの取組が活発化する。 ○人権教育に関する情報提供 1回以上 ○外部の教科研修会への参加者 10名以上 ○「学校に信頼できる教師がいる」80%以上	A	A	・年齢バランス・経験年数の違いから、様々な事象の捉え方に差異を感じると思う。管理職の組織マネジメントの苦労が伺える。一人一人の職員が、働き甲斐を感じて日々の教育実践に携わってほしいと思う。 ・プロ集団としての意識の醸成ができている。管理職の指導の成果でもある。 ・業務内容の煩雑さをもう一度見直し、時間を捻出していただきたい。生徒と向き合う時間は無駄ではないと思う。職員面談を継続して職務を充実させてほしい。 ・教職員のオーバーワーク防止への具体的な取組は必要だが、生徒への指導を充実させるには相反する部分もある。根本的な解決方法よりもベターな方法を模索することになる。
		○管理職からの声掛け 100% ○月 80 時間以上の時間外勤務従事者 5%以下	B		
ク	「魅力ある学校づくり」を進め、中高一貫の特色を生かした信頼される教育体制の充実に努める。	○「シラバスから授業の年間計画が分かる」80%以上 ○中高教員の乗り入れ 8人以上 ○生徒支援委員会年 6 回以上	A	A	・本校ならではの、中高教員の乗り入れ授業のさらなる拡大を期待する。 ・生徒支援委員会の実施で情報の共有化を図ることは、早期指導につながり、生徒にとっても安心材料であると思う。 ・本校の客観的な位置付けを把握し、より一層中高一貫のメリットを発揮していただきたい。
		○「3年間または6年間を通じた進路指導計画について知っている」80%以上	B		

様式第5号

ケ	<p>コンプライアンスの遵守に配慮するとともに、情報の発信を積極的に行い、生徒・保護者・地域の人々から信頼される学校経営に努める。</p>	<p>○「学校の教育活動に信頼感を抱いている」 保護者 90%以上 ○ホームページ年間更新 100 件以上、アクセス数 50、000 件以上</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの項目も昨年度よりも向上しており素晴らしい。引き続き積極的な情報発信に取り組んでほしい。</li> <li>・情報の発信を積極的に行うことも大切にしながら、個人情報・守秘義務もあり、今まで以上に様々な観点からの配慮が必要になってきている。</li> <li>・学校教育活動に90%以上の保護者が信頼感を抱いている現状は、大変素晴らしく、日々の先生方の努力の賜物だと思う。信頼の貯金は日々の実践からである。</li> <li>・コンプライアンス遵守は当然である。学校内外の関係者との信頼関係強化を図ってほしい。</li> </ul>
		<p>○学校説明会参加者 400 人以上、オープンスクール参加者 300 人以上 参加者は中学生及びその保護者</p>	A		
コ	<p>教育目標を達成するため、各目標具現化の柱の遂行に係る適切な財務執行を図る。</p>	<p>○節電等経費削減の周知を徹底し、光熱水費使用量を令和4年度より削減する。 ○監査、検査等での指摘事項0件</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高校としてインフラ整備（トイレ等）の順番待ちと理解しているところであるが、オープンスクールに訪れた際の高校選択の判断基準の一つであることは確かなので、勉学に取り組む環境を向上させていくのは大切である。</li> <li>・節電等経費削減の周知が徹底しており、全校で意識を高め取り組んだ結果が数値に表れていると思う。</li> <li>・監査、検査等で指摘事項0件は事務長をはじめ、職員全員の適正な財務執行に関する意識の高さだと思う。</li> </ul>